



1 明北小参観日全学年『学級 PTA で保護者に聞きました』 4月21日(火)

4月3日(金)に行った、明北小職員『学校づくりミーティング』において、保護者にも“子どもたちや学校に寄せる思い”を聞いてみようとの意見が出されました。そこで、年度はじめの全校授業参観日の学級 PTA で、その時間を設けました。

<こんな明北小に！>

子どもたちが笑顔(明るく楽しく)

人と一緒にいるって心地いいな、楽しいなと思える

上下関係を大切にしつつ学年にとらわれず遊ぶ

「今」しかできないことをたくさん経験できる

友だちや先生といろいろなことを経験できる

子ども一人一人の気持ちや考えに「いいね」と言える

みんなで協力、助け合い

たてわり班活動が続く

みんなが安心して過ごせる

明北小の自然(かんだち山・廃線敷など)を活かした地域とのかかわりがある

親が明北小の子どもたちの名前と顔がわかり、困った時、楽しい時に、声を掛け合える



<こんな子どもたちに！>



相手のことを考えられる、話を聞いてあげられる

相手の意見、自分と違う考えも認めることができる

明科を愛し、大人になって明科を支える側になれる

困っている人を助ける

思いやりがある

0から1を作り出す力がある

素直

元気

よく食べ、よく寝て、くらしを楽しむ

本を読む

自分を満たし、周りの子を満たしてあげられる

失敗しても挑戦し続けられる

仲良くできる

自分で自分をご機嫌にできる

いろいろな人を見て成長できる

のびのびと活動できる

自分のことが好き

自分で考えて行動できる

自分の考えがもてる

柔軟に対応できる

分からないことを分からないと言える

いろいろなことに興味をもち、挑戦する

困ったことから逃げず、困ったことを放り出さず、自分で考え、みんなで話し合っ解決しようとする

人とコミュニケーションがとれる

友だちとのかかわりを楽しめる

自分の気持ちを伝えられる

自分をありのままに表現できる

周りを巻き込んで明るく進む

自分も友だちも大切にできる

間違いや失敗を自分で認められる

素直に謝ることができる

人のせいにせず、自分の意志で進む

周りへの感謝の気持ちを持ちながら、自分の道を突き進む

「ありがとう」や「ごめんなさい」などあいさつを大切にできる

<こんなことができそう！>

笑顔でどんなことも全力で一緒に楽しむ

1番の応援団にいる

待つ、見守る、サポートする

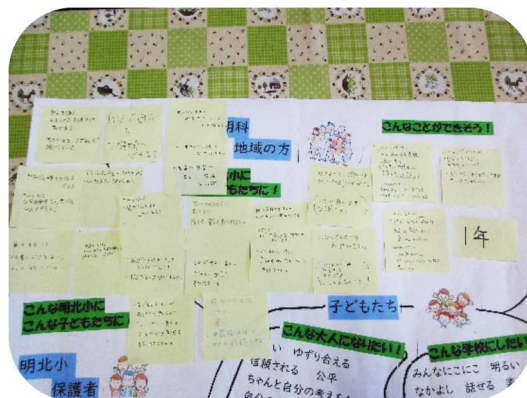
明科の施設をたくさん利用する、明科でたくさん遊ぶ

元気に学校に行くことができるようにする

失敗を乗り越えられるような前向きな言葉がけをする

目を見て最後まで話を聞く

たくさんの愛情を注ぐ



「大好きだよ」「生まれてきてくれてありがとう」「そのままのあなたでいいんだよ」と言葉にして伝える

家で一緒にゆっくり過ごす

親自身が自分を満たす

あいさつをする（家族・明北小の子）

親が明北小の子どもたちの名前と顔を覚える

地域の人などいろいろな人と交流する機会をつくる

散歩や昔話をしながら、地域のことを伝えていく

すぐに否定せず、話をたくさん聞いてあげる

大人だからできるアドバイスをする

「助けて」と言われたときに助けられるように元気である

たくさんほめる、認める

人とかかわりを大切にできる

親自身が毎日小さなことにも感謝する

子どもとよい距離感であろうとする

良いところを伸ばす

やりたいことに挑戦させてあげる

本人の意見や行動を尊重しつつ、親自身が思ったことをちゃんと伝える

帰ってきた子をそのまま受け入れる（疲れ・喜び・緊張・安堵など）

ダメなことはダメだと伝える

年度当初の学級懇談会で、お家の方々から、学校に寄せる思いや、育みたい子どもの姿について語っていただくことは、なかなかありません。今回、「（保護者として）こんなことができそう」までお聞きし、意見交換ができたのは、保護者だけでなく明北小職員にとっても意義あることだったと思います。ちなみに、どの設問にも「勉強」というWordはありませんでした。

3つの問いかけに対するご意見の多くは、TOCO-TONを推進する職員の意識・姿勢としても目指したい内容です。子どもたちが自らの願いを自分たちのやり方で実現していけるように、職員・保護者・地域が、それぞれの立場で支えていくTOCO-TONでありたいと思います。「子どもたち」「職員」「保護者」「地域」それぞれの思いを集約したまとめ（教務主任作成）が、職員室に掲示されています。